

CASBEE 広島 2016年版

イズミ新築園店新築工事

■使用評価マニュアル CASBEE 広島 2016年版

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質								3.4	
Q1 室内環境					0.36		-	3.5	
1 音環境				3.4	0.15		-	3.4	
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40		-		
1.2 遮音				5.0	0.40		-		
1 開口部遮音性能		遮音性能:T-2		5.0	1.00		-		
2 界壁遮音性能				-	-		-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-		-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-		-		
1.3 吸音				1.0	0.20		-		
2 温熱環境				2.5	0.35		-	2.5	
2.1 室温制御				3.3	0.50		-		
1 室温				3.0	0.45		-		
2 外皮性能		断熱性能の高い建材の採用		5.0	0.20		-		
3 ゾーン別制御性				3.0	0.35		-		
2.2 湿度制御				3.0	0.20		-		
2.3 空調方式				1.0	0.30		-		
3 光・視環境				3.9	0.25		-	3.9	
3.1 昼光利用				3.0	0.53		-		
1 昼光率				-	-		-		
2 方位別開口				-	-		-		
3 昼光利用設備				3.0	1.00		-		
3.2 グレア対策				-	-		-		
1 昼光制御				-	-		-		
3.3 照度				-	-		-		
3.4 照明制御		自動照明制御		5.0	0.47		-		
4 空気質環境				4.6	0.25		-	4.6	
4.1 発生源対策				5.0	0.50		-		
1 化学汚染物質		ホルムアルデヒド以外のVOCについても放散量が少ない建材を使		5.0	1.00		-		
4.2 換気				4.0	0.30		-		
1 換気量				3.0	0.50		-		
2 自然換気性能				-	-		-		
3 空気取り入れ外気への配慮		空気取り入れ口は各種排気口と異方位かつ6m以上離隔		5.0	0.50		-		
4.3 運用管理				4.5	0.20		-		
1 CO ₂ の監視		管理マニュアルを整備		4.0	0.50		-		
2 喫煙の制御		全館禁煙		5.0	0.50		-		
Q2 サービス性能				-	0.30		-	3.6	
1 機能性				3.6	0.40		-	3.6	
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40		-		
1 広さ・収納性				-	-		-		
2 高度情報通信設備対応				-	-		-		
3 バリアフリー計画				3.0	1.00		-		
1.2 心理性・快適性				3.6	0.30		-		
1 広さ感・景観		売り場の天井高:3.9m以上		5.0	0.34		-		
2 リフレッシュスペース				3.0	0.32		-		
3 内装計画				3.0	0.34		-		
1.3 維持管理				4.5	0.30		-		
1 維持管理に配慮した設計		防汚性の高い仕上げ、水を使用して洗浄可能な設計等		5.0	0.50		-		
2 維持管理用機能の確保		安全な排水経路、清掃用電源の計画、清掃用照度の確保等		4.0	0.50		-		
2 耐用性・信頼性				3.5	0.30		-	3.5	
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50		-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80		-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20		-		
2.2 部品・部材の耐用年数				4.2	0.30		-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20		-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		耐用年数の長い外装材の採用		5.0	0.20		-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		耐用年数の長い内装材の採用		5.0	0.10		-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		屋外露出ダクトには全てガルバリウム鋼板を採用		5.0	0.10		-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		耐用年数の長い配管材の採用		5.0	0.20		-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20		-		
2.4 信頼性				3.7	0.20		-		
1 空調・換気設備				3.0	0.20		-		
2 給排水・衛生設備		グリーン購入法適合品の水栓器具採用、非常用水栓の設置等		4.6	0.20		-		
3 電気設備		非常用発電機の設置、無停電電源設備の設置、浸水対策		4.0	0.20		-		
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20		-		
5 通信・情報設備		通信手段の多様化、浸水対策、TVによる災害情報入手		4.0	0.20		-		

3 対応性・更新性			3.7	0.30	-	-	3.7
3.1 空間のゆとり			5.0	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高:3.9m以上	5.0	0.60	-	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率<0.1	5.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	-	-	
3.3 設備の更新性			3.4	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性	配管配線等により仕上材を傷めず修繕・更新可能	5.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性	配管配線等により仕上材を傷めず修繕・更新可能	5.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.34	-	-	3.1
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.1
1 建物外皮の熱負荷抑制			[BPI][BPI _m] = 0.92	3.7	0.20	-	3.7
2 自然エネルギー利用				3.0	0.10	-	3.0
3 設備システムの高効率化			[BEI][BEI _m] = 0.81	2.9	0.50	-	2.9
4 効率的運用				3.5	0.20	-	3.5
	集合住宅以外の評価		3.5	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制	管理体制、エネルギー消費量等の計画	4.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価		-	-	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.7
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1	節水	節水型器具の採用	4.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.8	0.60	-	-	3.8
2.1	材料使用量の削減	デッキ合成スラブ等の採用	5.0	0.11	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.22	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	床:ビニル床タイル,壁:100角タイル,階段:再生木デッキ	5.0	0.22	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上材が容易に分別可能な構造	4.0	0.22	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.20	-	-	3.6
3.1	有害物質を含まない材料の使用	該当物質を含まない建材種別を1種別採用	4.0	0.30	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避		3.5	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	ODP<0.01、1<GWP<50発泡剤を用いた断熱材を使用	4.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮			LCCO2排出率:84%	3.6	0.33	-	3.6
2 地域環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.7	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減	自主的な対策を実施	4.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	十分なスペースの駐車・駐輪場確保、渋滞緩和に配慮した導入計	5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2	風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		-	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3	光害の抑制		4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	周囲への漏れ光に配慮した屋外照明計画	5.0	0.70	-	-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	